

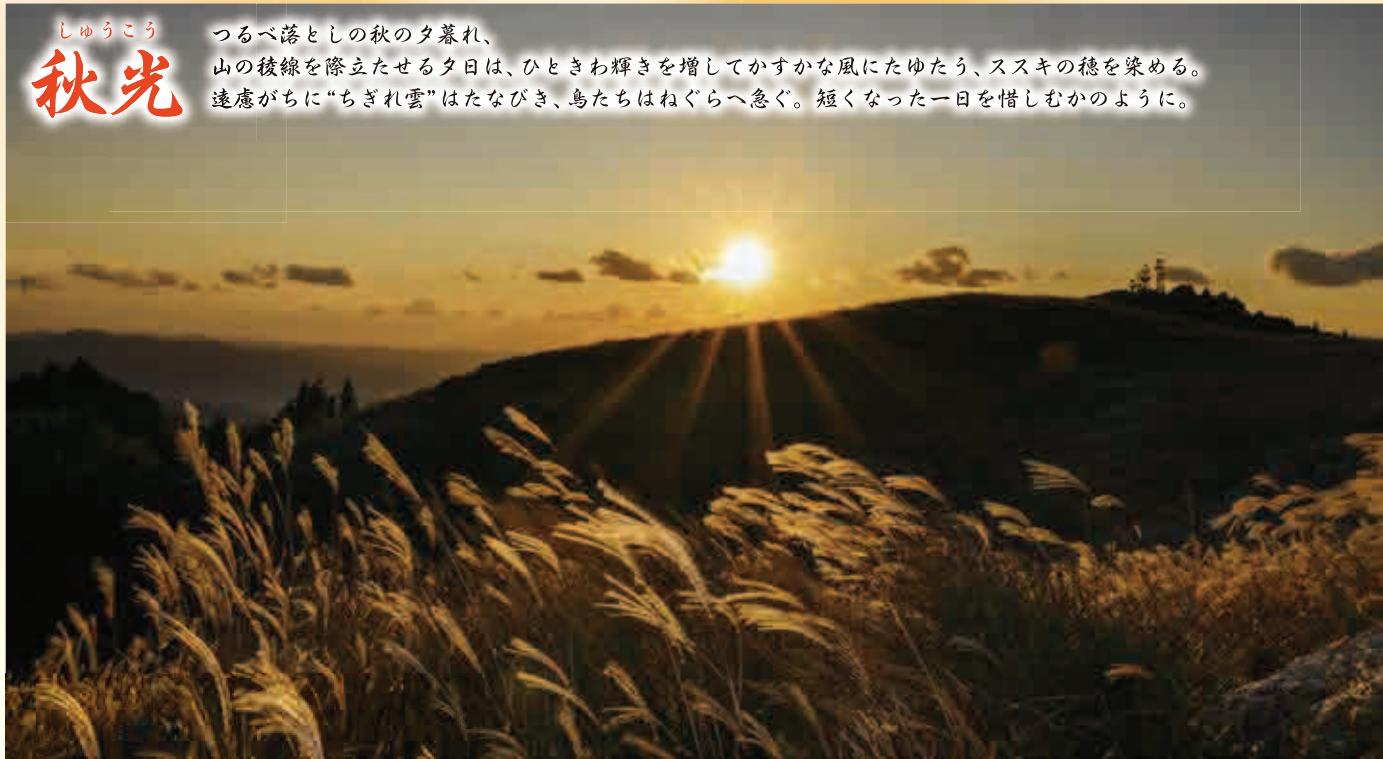
# 鈴秀四季



No.79  
Autumn  
2025

しゅうこう  
秋光

つるべ落としの秋の夕暮れ、  
山の稜線を際立たせる夕日は、ひときわ輝きを増してかすかな風にたゆたう、ススキの穂を染める。  
遠慮がちに“ちぎれ雲”はたなびき、鳥たちはねぐらへ急ぐ。短くなった一日を惜しむかのように。



「ゴールはここじゃない！」

『和歌山県生石高原から臨む夕景』撮影:OB 小新井 治朗さん

技術部 技術開発課の濱田です。

今回の表紙を飾る記事の依頼を受けたのは8月。お盆休み直前のことでした。私の住む山口県は連休初日から天候が崩れ、13日かけて線状降水帯の影響で九州、中国地方は記録的な大雨になりました。鉄道や飛行機だけでなく高速道路までストップし、私の旅行計画もすべて流れ去ってしまいました。同じように帰省や旅行を断念した方も多いのではないでしょうか。

それでも「この夏を異常気象なんかに邪魔させたくない」と思った私は、残り少ない8月の週末を利用して、私の地元 熊本県の阿蘇へ向かいました。みなさんご存じの「阿蘇山」は、東西に連なる阿蘇五岳(根子岳・高岳・中岳・烏帽子岳・杵島岳)を中心とした山々の総称ですが、実はその周囲128kmに広がる外輪山を含めたカルデラ全体のことを言います。今回の目的は、その最高峰・高岳(標高1592m)登山なのです。到着が遅れてしまい、登山口に着いた頃の気温は既に30℃超え、木陰のない岩肌むき出しのルートは過激でした。同行したのは登山経験が少ない後輩・末島さん。「ここは一発、先輩らしさを見せなきゃ」と気遣いの声掛けしながら登ったものの、5合目あたりでそんな余裕は消え去りました。折れそうになる私の心は、後ろを歩く後輩の気配に励まされ、(プレッシャーに)背中を押されるように登りきることができました。標準タイムの2時間半は大幅にオーバーしたものの、山頂に時折吹く風は、ほのかな硫黄の香りが心地よく、眼下に広がる阿蘇谷はまさに絶景。緑に埋め尽くされたカルデラの台地には、阿蘇市がすっぽり収まっている、牧草地あり、温泉街あり、人の生活がそこにあります。毎度のことながら、山頂に立てば「ああ、来てよかった」を再確認。40歳を機に軽い動機で始めた登山も、この高岳で九州百名山のうち目標としていた6座踏破を達成。地元の熊本でのフィニッシュは格別です。次の目標は中国、四国地方の山々です。楽しみは尽きません。

さて、私の勤務する山口工場では、冷間引抜による異形磨棒鋼製品を生産しています。

お取引先様へ納入された後は、熱処理や切削・穴あけ工程を経て最終加工され「LMガイド」として自動搬送装置や半導体製造装置に組み込まれ、重要な役割を担っています。機械の内部にあるので普段は目にすることはありませんが、「世界中で使われているスマートフォンやパソコンの製造過程に、私たちの商品が活躍してくれているんだ。」そんな風に思うと誇らしくさえ感じます。

私が担当する技術開発の仕事は、お客様からの要請対応だけでなく、市場のニーズを捉えて営業部門が提案できる工法や商品づくりを検討すること。しかし、金型設計から製造工程などを図面上だけで展開するのではありません。実際の生産現場での量産操業にいたるまで、そのすべてに携わっています。複雑な形状はもちろん、0.01mm単位のシビアな精度が要求される世界、狙い通りに進むことなど皆無です。部署を超えた現場の仲間たちの力を借りながら、試行錯誤を繰り返す。だからこそ、製品化そして量産化できた時の喜びは計り知れません。

早いもので、私が山口工場に入社してから20年。2020年に稼働した山口第2工場によって出荷能力が3倍となり、仲間もたくさん増えました。これからもこのエネルギーッシュな仲間たちと一緒に、仕事も趣味もたのしく盛り上がりていきたいと思っています。



技術部 技術開発課  
主査 濱田 寛之



# 『桶狭間の戦い』～半可通(知ったかぶり)解説～

前号に引き続き、地元の歴史『桶狭間の戦い』のいよいよ本編です。

戦国時代も100年が過ぎ、各地域の勢力図が固まりつつあった1560年。尾張統一を果たしたばかりの織田信長の周囲には、北に斎藤氏、東には三河を支配下に収めた今川氏と大物ライバルに挟まれていました。とりわけ「海道一の弓取り」今川義元は、尾張への侵攻を虎視眈々と窺っていたのです。

鈴秀工業のある大高付近は、まさに三河との国境にあたります。今川の支配下となっている鳴海、大高の二つの城をめぐる争いが、ついに信長と義元を正面衝突させます。この二つの城を奪還しなければ、織田の経済基盤である「熱田港」が危うくなる。必要に迫られた信長は、二つの城の周囲に砦を築き、動きを封じる作戦にでたのです。

織田の築いた砦に囲まれ、孤立している大高城を救援するため、今川義元が大軍を擁して尾張に迫ります。2万とも3万とも伝わる今川軍の進軍を前にして、神も仏も信じないと伝わる織田信長さえも熱田神宮の神に祈ったとか。これが必ず歴史の教科書に登場する、「桶狭間の戦い」です。

一般的には、「信長の奇襲で大勝利」なんてイメージが強いのですが、実際どうなんでしょうか。そして「愚将」として扱われるがちな敗者の今川義元。その半生にもスポットを当ててみましょう。

## 名門!「今川家」とおぼっちゃん当主?

群雄割据の戦国時代といつても、形の上では未だ足利將軍家の時代。その一門として権威をもっていたのが「洪川家」「石橋家」「吉良家」。この三家は「御一家」と呼ばれる象徴的な存在でした。中でも西尾市あたりを領していた「吉良家」は実力も兼ね備え、幕府の内で実質的なナンバーワンの家柄。その「吉良家の」の分家で、しかも最大勢力を誇ったのが西尾市今川町をルーツとする「今川家」なのです。

『御所(足利将軍家)が絶えなば、吉良が絶えなば、今川が絶えなば』と謳われるほど将軍家に近い家柄だったのです。

「桶狭間の戦い」が起きた1560年、今川義元は「従三位左京大夫」という高い官位(=公卿クラス、武家では将軍に次ぐ大名)。一方、織田信長といえば尾張一国を束ねてはいるものの、「従五位下」(一下級貴族レベル)。比べてみると、まさに「県大会優勝の中学生野球チームが、プロ球団に挑む」ような構団でした。

## 義元くん、波乱の青春時代～実は、いろいろあったんです…。

「桶狭間の戦い」という物語にあって、「今川義元」は完全に信長の引き立て役。それゆえに、映画やドラマでは「名家のお坊ちゃん大名」とちやかとして描かれていたり、大軍で遠征してきたのに、あっさり負けちやんちやんとして扱われています。だからか、その風貌も戦国武将的ではなく、貴族風。色白・麻呂唇・お歯黒巻。馬にもまたがれないオデブさんといふラックスで登場します。

けれど、実際の義元くんは波乱の途中で鍛えられた苦労人。今回はそんな義元くんの青春時代をたどっていきます。

## 誕生・修業・骨肉の争い

1519年、義元くん(幼名:芳菊丸)は駿河今川氏9代氏親のほぼ末っ子として誕生。

この当時、長男と次男は跡継ぎとして残し、それ以外の男子は他家への養子か、お坊さんの修業をする出家コースへまっしへです。彼の場合は京都の建仁寺や妙心寺で修業。名前も「梅岳承芳(せんくじょうほう)」と改めました。この時の教育係が生涯の師、そして名参謀となる「太原雪斎」です。

7歳のとき、父の今川氏親が没し、後継となつたのが14歳の長男氏輝でした。ところがなんの運命のいたずらか、1536年、当主として頑張っていた兄氏輝が24歳で急死。それだけでなく、なんと同じ日に次兄の彦五郎までが謎の死を遂げてたのです。この当主と次の当主候補、二人の死については、暗殺ではないかとの疑念もささやかれています。

すると、すぐさま静岡藤枝の照光寺で守持をしていた腹違いの兄「玄広惠探(げんこうえんだん)」が次期当主に名乗りをあげて挙兵、「梅岳承芳(=義元くん)」との家督争いへと発展します。これが有名な「花倉の乱」です。母・寿桂尼と師匠・太原雪斎先生のバックアップを得て勝利し、17歳で当主デビュー。その名を「今川義元」と改め、「海道一の弓取り伝説」が始まります。

## 義元くんを支えた二人の存在

寿桂尼さん(実母)

今川家のゴッドマザー。女性ながらも政治を補佐し、家中を仕切ったスーパー母上。鎌倉時代の北条政子のように「尼御台(あまみだい)」と呼ばれ、常に今川家のファーストの姿勢で、義元の死後も孫の氏真を守り今川家の存続と繁栄にその生涯を捧げました。

太原雪斎先生(師匠・軍師)

義元くんの教育係、臨終宗の僧侶。今川家の外交・軍事・内政のすべてを取り仕切る最高顧問。隣国との紛争交渉などでは常に最前线で対応しました。武田・北条との同盟も彼の手腕によるものです。残念ながら1555年、60歳で死去。義元くんは最良の相談相手を失ってしまいます。5年後に迫る「桶狭間の戦い」に、もし彼が生きていれば、戦国の歴史は違っていたのかもしれません。

## 信長vs義元、静かに始まっていた両家のバトル

### 甲相駿三国同盟

それは、8年前から…1551年、尾張の虎、織田信秀(信長の父)死す。これをきっかけに尾張が乱れだします。翌年、18歳の信長が家督を継ぎますが、尾張を統一するまで8年の歳月を要します。

その間、今川義元は隣接する甲斐信玄、相模の北条氏康との間に1554年、「甲相駿三国同盟」を結び、背後の安全を確保。勢力を西へと延ばして遠江(浜松)につづき、三河を支配下に収めました。

ついには三河と尾張の国境にある織田方の「鳴海城」、「大高城」を手中に收め、次の標的は信長の経済の要「熱田港」に絞られます。

この流れを封じるために、信長は鳴海城に丹下・善照寺・中島の砦を、大高城には丸根・鷺津の砦を築いたことで両者の衝突は避けられないものとなりました。敵に囲まれ仲間が孤立する「大高城」を救援するため、今川義元は大軍を擁して尾張へ進発。圧倒的な兵力差を持つ義元にも、懸念材料がたった一つだけありました。それは人質として配下に従属させてはいるものの、いつ襲撃かわからぬ松平元康(家康)率いる三河勢の動きです。義元は、それを見ぬながら慎重に進軍してゆきました。

## 『今川義元、運命の一週間』～謎の行軍～

一昔前のドラマなどでは、今川義元が天下を視野に入れて上洛を自ら目論んでいたという風に描かれていますが、実際のところは大高城の救援です。当主として家中の信頼を得るために、孤立する仲間を見捨てるわけにはいきません。今後を見据え、隣国との信長をけん制し、権威を示すことを目的の一つだったでしょう。駿府城を出発し、運命の日に至る「今川義元の最後の一週間」をたどります。

注目したいのが1日あたりの行軍距離。

岡崎城に至る5月16までの5日間は、連日20~38kmの距離を急ぎ足で進んでいます。しかし、松平元康(家康)が所領する三河あたりから変化、本拠地の岡崎城には数千の守備隊を残して行軍も緩やかになります。これは三河勢の動きを警戒したことだと推測されます。極めつけは杏掛城に入った5月18日の軍議で、松平元康(家康)以下三河勢に対して敵中に孤立する大高城へ即日のうちに兵糧搬入せよと命じています。翌19日の丸根・鷺津の両砦を総攻撃するのであれば、なにもこのタイミングで行う必要性があったのか?義元は慎重を期して家康を試してみたのではないかとも考えられます。



前号に引き続き、地元の歴史『桶狭間の戦い』のいよいよ本編です。

戦国時代も100年が過ぎ、各地域の勢力図が固まりつつあった1560年。尾張統一を果たしたばかりの織田信長の周囲には、北に斎藤氏、東には三河を支配下に収めた今川氏と大物ライバルに挟まれていました。とりわけ「海道一の弓取り」今川義元は、尾張への侵攻を虎視眈々と窺っていたのです。

鈴秀工業のある大高付近は、まさに三河との国境にあたります。今川の支配下となっている鳴海、大高の二つの城をめぐる争いが、ついに信長と義元を正面衝突させます。この二つの城を奪還しなければ、織田の経済基盤である「熱田港」が危うくなる。必要に迫られた信長は、二つの城の周囲に砦を築き、動きを封じる作戦にでたのです。

織田の築いた砦に囲まれ、孤立している大高城を救援するため、今川義元が大軍を擁して尾張に迫ります。2万とも3万とも伝わる今川軍の進軍を前にして、神も仏も信じないと伝わる織田信長さえも熱田神宮の神に祈ったとか。これが必ず歴史の教科書に登場する、「桶狭間の戦い」です。

一般的には、「信長の奇襲で大勝利」なんてイメージが強いのですが、実際どうなんでしょうか。そして「愚将」として扱われるがちな敗者の今川義元。その半生にもスポットを当ててみましょう。

## 名門!「今川家」とおぼっちゃん当主?

群雄割据の戦国時代といつても、形の上では未だ足利將軍家の時代。その一門として権威をもっていたのが「洪川家」「石橋家」「吉良家」。この三家は「御一家」と呼ばれる象徴的な存在でした。中でも西尾市あたりを領していた「吉良家」は実力も兼ね備え、幕府の内で実質的なナンバーワンの家柄。その「吉良家の」の分家で、しかも最大勢力を誇ったのが西尾市今川町をルーツとする「今川家」なのです。

『御所(足利将軍家)が絶えなば、吉良が絶えなば、今川が絶えなば』と謳われるほど将軍家に近い家柄だったのです。

「桶狭間の戦い」が起きた1560年、今川義元は「従三位左京大夫」という高い官位(=公卿クラス、武家では将軍に次ぐ大名)。一方、織田信長といえば尾張一国を束ねてはいるものの、「従五位下」(一下級貴族レベル)。比べてみると、まさに「県大会優勝の中学生野球チームが、プロ球団に挑む」ような構団でした。

## 義元くん、波乱の青春時代～実は、いろいろあったんです…。

「桶狭間の戦い」という物語にあって、「今川義元」は完全に信長の引き立て役。それゆえに、映画やドラマでは「名家のお坊ちゃん大名」とちやかとして描かれていたり、大軍で遠征してきたのに、あっさり負けちやんちやんとして扱われています。だからか、その風貌も戦国武将的ではなく、貴族風。色白・麻呂唇・お歯黒巻。馬にもまたがれないオデブさんといふラックスで登場します。

けれど、実際の義元くんは波乱の途中で鍛えられた苦労人。今回はそんな義元くんの青春時代をたどっていきます。

## 誕生・修業・骨肉の争い

1519年、義元くん(幼名:芳菊丸)は駿河今川氏9代氏親のほぼ末っ子として誕生。

この当時、長男と次男は跡継ぎとして残し、それ以外の男子は他家への養子か、お坊さんの修業をする出家コースへまっしへです。彼の場合は京都の建仁寺や妙心寺で修業。名前も「梅岳承芳(せんくじょうほう)」と改めました。この時の教育係が生涯の師、そして名参謀となる「太原雪斎」です。

7歳のとき、父の今川氏親が没し、後継となつたのが14歳の長男氏輝でした。ところががんの運命のいたずらか、1536年、当主として頑張っていた兄氏輝が24歳で急死。それだけでなく、なんと同じ日に次兄の彦五郎までが謎の死を遂げてたのです。この当主と次の当主候補、二人の死については、暗殺ではないかとの疑念もささやかれています。

すると、すぐさま静岡藤枝の照光寺で守持をしていた腹違いの兄「玄広惠探(げんこうえんだん)」が次期当主に名乗りをあげて挙兵、「梅岳承芳(=義元くん)」との家督争いへと発展します。これが有名な「花倉の乱」です。母・寿桂尼と師匠・太原雪斎先生のバックアップを得て勝利し、17歳で当主デビュー。その名を「今川義元」と改め、「海道一の弓取り伝説」が始まります。

## 義元くんを支えた二人の存在

寿桂尼さん(実母)

今川家のゴッドマザー。女性ながらも政治を補佐し、家中を仕切ったスーパー母上。鎌倉時代の北条政子のように「尼御台(あまみだい)」と呼ばれ、常に今川家のファーストの姿勢で、義元の死後も孫の氏真を守り今川家の存続と繁栄にその生涯を捧げました。

太原雪斎先生(師匠・軍師)

義元くんの教育係、臨終宗の僧侶。今川家の外交・軍事・内政のすべてを取り仕切る最高顧問。隣国との紛争交渉などでは常に最前线で対応しました。武田・北条との同盟も彼の手腕によるものです。残念ながら1555年、60歳で死去。義元くんは最良の相談相手を失ってしまいます。5年後に迫る「桶狭間の戦い」に、もし彼が生きていれば、戦国の歴史は違っていたのかもしれません。

## 信長vs義元、静かに始まっていた両家のバトル

### 甲相駿三国同盟

それは、8年前から…1551年、尾張の虎、織田信秀(信長の父)死す。これをきっかけに尾張が乱れだします。翌年、18歳の信長が家督を継ぎますが、尾張を統一するまで8年の歳月を要します。

その間、今川義元は隣接する甲斐信玄、相模の北条氏康との間に1554年、「甲相駿三国同盟」を結び、背後の安全を確保。勢力を西へと延ばして遠江(浜松)につづき、三河を支配下に収めました。

ついには三河と尾張の国境にある織田方の「鳴海城」、「大高城」を手中に收め、次の標的は信長の経済の要「熱田港」に絞られます。

この流れを封じるために、信長は鳴海城に丹下・善照寺・中島の砦を、大高城には丸根・鷺津の砦を築いたことで両者の衝突は避けられないものとなりました。敵に囲まれ仲間が孤立する「大高城」を救援するため、今川義元は大軍を擁して尾張へ進発。圧倒的な兵力差を持つ義元にも、懸念材料がたった一つだけありました。それは人質として配下に従属させてはいるものの、いつ襲撃かわからぬ松平元康(家康)率いる三河勢の動きです。義元は、それを見ぬながら慎重に進軍してゆきました。

## 『今川義元、運命の一週間』～謎の行軍～

一昔前のドラマなどでは、今川義元が天下を視野に入れて上洛を自ら目論んでいたという風に描かれていますが、実際のところは大高城の救援です。当主として家中の信頼を得るために、孤立する仲間を見捨てるわけにはいきません。今後を見据え、隣国との信長をけん制し、権威を示すことを目的の一つだったでしょう。駿府城を出発し、運命の日に至る「今川義元の最後の一週間」をたどります。

注目したいのが1日あたりの行軍距離。

岡崎城に至る5月16までの5日間は、連日20~38kmの距離を急ぎ足で進んでいます。しかし、松平元康(家康)が所領する三河あたりから変化、本拠地の岡崎城には数千の守備隊を残して行軍も緩やかになります。これは三河勢の動きを警戒したことだと推測されます。極めつけは杏掛城に入った5月18日の軍議で、松平元康(家康)以下三河勢に対して敵中に孤立する大高城へ即日のうちに兵糧搬入せよと命じています。翌19日の丸根・鷺津の両砦を総攻撃するのであれば、なにもこのタイミングで行う必要性があったのか?義元は慎重を期して家康を試してみたのではないかとも考えられます。

## 三河・岡崎まで、スタートダッシュの5日間、からのスローダウン!

5月12日 総勢25,000の兵团で尾張へ向けて駿府(静岡)を出発。距離:22~23km。藤枝にて宿営。

5月13日 遠江路を西進。距離:32~34km。忠臣・朝比奈泰朝の居城、掛川城に到着。

5月14日 掛川を発する。距離:27~30km。引馬(浜松)に到着。

5月15日 引馬(浜松)を発する。距離:35~38km。三河に入る。三河吉田に宿営。

5月16日 三河吉田を出発。距離:約30km。松平の本拠である岡崎城に入場。この時、義元は三河松平勢抑止のため、数千の守備兵を残す。

5月17日 岡崎城を出発。距離:約15km。池鯉鮒(知立)城に到着。ここにも守備兵を数千残す。

5月18日 挑点を杏掛城に移す。距離:約8km。丸根・鷺津砦に包囲される大高城(鶴賀長照が守備)へ、兵糧搬入という危険な役割を松平(三河)勢に指示。松平を試したか?松平元康・夕刻を待たず進発。夜半、大高城に入場を果たした。

## そして、迎えた義元運命の日!!

5月19日 未明(午前3時頃) 松平信康率いる三河勢、数千が織田方の丸根砦を攻撃開始。

同時に 朝比奈泰朝・伊井伊直盛の数千が織田方の鷺津砦を攻撃。

午前10時頃 鶴津砦陥落。鷺津砦を守る織田秀敏・飯尾定宗は討死。

午前10時頃 丸根砦陥落。守備する猛将 佐久間盛重を討もどした松平勢が城代の鶴賀長照に代わり、大高城の守備に就く。

午前11時頃 香掛城を出た今川本隊が「桶狭間山」に到着。陣を構える。

## 信長の長い一日。決戦の夜が明ける。

5月18日 夕刻~夜半 「今川軍が大高城へ兵糧を搬送」との情報が信長に入る。

清洲城にて軍議。籠城すべきか否かを議論。「夜も更けたので、みな帰れ」と信長が解散を告げる。

5月19日 午前4時過ぎ 丸根・鷺津両砦に対し、今川軍急襲の報が入る。

従者6騎を従え、信長出陣。

午前8時 热田神宮に到着。距離:約12km。戦勝祈願の後、後続の兵を纏めて出発。最短路の熱田海岸線が満潮により騎馬移動不可を判断。土手沿いに進み丹下砦を目指す。

午前10時 丹下砦で水野帶刀の兵を合図。距離:約4km。

善照寺砦に到着。距離:約2km。ここで迎えてきた泰親が率いる300の兵を率いて今川軍へ突撃するも撃破される。

午前11時 中島砦に到着。距離:約2km。ここで迎えてきた泰親が率いる2,000弱。今川本隊が「桶狭間山」で休息をとるとの情報が入る。

義元が休憩(戦況を見るため)をした場所は「桶狭間」と言います。昔からその場所は山谷の谷のような地形であったと伝えられていますが、史実では桶狭間山。標高60~70mほどの山だったようです。信長本隊が向かってくるであろう「善照寺砦」のある北西に向けて陣を張っていることから、慢心、油断しているのではなく、織田方の動静を見極めるために選んだ位置だったことがわかります。

信長の戦法は、基本 正攻法。奇襲は好みません!

## 義元の陣取りは、間違っていたのか?

11時頃、中島砦に到着した信長は集結した兵(2,000弱)をまとめ、決戦の覚悟を決めます。

今川軍25,000のうち、三河への警戒、鳴海・大高・杏掛城、および前線への配備に拡散していたため、本陣にいるのはおそらく6,000ほどでした。

信長が目と鼻の先(直線約3km)にいる敵陣へ進軍を始めた正午頃、突然の豪雨を遮る嵐が戦場を吹き荒れ、すべての音がきき消されました。これが幸いして織田軍が今川勢に気づかれることなく桶狭間山のふもとまで迫った頃、嵐のように風雨がやむのでした。それを合図に信長軍は一気に攻め上り、戦闘はいよいよクリアマックスへ。

突然現れた敵軍に、当主を守護する義元の旗本300余り。奮戦むなし、とうとう午後2時頃、義元は討ちとられてしまいます。

そうです、信長軍2,000人は中島砦からまっすぐに、「奇襲」ではなく死闘を挑んでいます。兵が分散され、手薄になっているといえ本陣の守備は6,000。信長の決断の大胆さがうがえがえます。その決断を豪雨が後押したという事実は、歴史のイタズラとしか思えません。

清洲城から桶狭間山までの距離は、約26km。夜明けとともに出撃し午後1時頃から始まった戦闘は戦闘2時間ほどで終わりました。戦死者数は、今川方2,750余名、織田方950余名。戦場あとは今では住宅地、その一角にある「七つ塚」や豊明市にある「戦入塚(千人塚とも)」に彼らは葬られています。

## 義元の最期とそれから!

敗者となった今川義元、彼はむざむざと討ち取られたわけではありません。攻めかけてきた織田の服部一鬼(小平太)に槍をつけられたものの、反撃。膝を切りつけてこれを撃退。しかし、続いて助太刀してきた毛利良勝(新介)に討たれました。首を切られる寸前に義元は、毛利の指をガブリと食いつぎったそうです。相当の強者だったんですね。義元の首は、鳴海城の細部元信が城の明け渡しを条件に受け取り、駿府へ戻されました。一方、大高城を守備していた松平元康(家康)は駿府には戻らず、自領の岡崎城に入ります。鳴海城、大高城を手に

入れた信長の長いない日はこうして終わりました。

織田信長27歳、松平元康(徳川家康)18歳の初夏でした。今川義元享年42歳。名門に生まれながらも波乱を乗り越え、海道一の実力者と呼ばれた彼は決して愚将なんかじゃなかった。そんな彼の死が、若き織田信長の飛躍、そして徳川家康の独立へつながります。

わが社のある名古屋市緑区大高の地、ここは新たな時代の扉がひらかれた、ロマンあふれる場所だったんですね。

因みに義元の首をあけた織田家臣の毛利良勝。「天下布武」を目前にした22年後の「本能寺の変」では、信長と共に最期を遂げたそうです。こんなエピソードも戦国ドラマを感じますね。

今回も、地元 桶狭間地区の位置関係把握のため、WEBサイト「戦国時代勢力図と各大名の動向」管理者の「ひろゆき」様のご協力で、画像および一部資料を使わせていただきました。ありがとうございます。

4

## 久々に動物施設を満喫!

「最近動物園行ってないなあ。」という方結構いらっしゃるのではないかでしょうか。でも動物園には、スマホの画面越しでは味わえない動物たちの息づかいや自然の香り、そして訪れる人々の笑顔などなど、五感を通して“生きている”ということを感じられ、心が躍るようならわくわく感もあるふれています。

行楽の秋、一緒に楽しむひと時を共にしたいご家族や仲間とは是非行ってみてくださいね。

### 東山動植物園 [名古屋市]

晩秋の東山動物園は、どこか静けさをまとった特別な空気で包みます。木々が赤や黄に染まり、落ち葉が舞う園内を歩けば、動物たちの息づかいがより鮮明に感じられるような気がしてきます。夏の騒がしさが落ち着いたこの季節は、動物たちも穏やかに過ごしていく、ゆっくりと観察するのにぴったり。「動物園ってこんなに静かで、心地よがったんだ」と、思わず深呼吸したくなるような時間が流れています。

**人気の動物たち** コアラ…東山のシンボル的存在。ユカリをむしやむしや食べる姿が癒し系。「13時のお食事タイム」が狙い目!

提供:名古屋市東山動植物園

提供:名古屋市東山動植物園

休園日: 月曜日、12/29~1/1  
入園料金: 大人(高校生以上) 500円、中学生以下は無料  
開園時間: 9:00~16:50(入園券の発売は16:30まで)

### 日本モンキーセンター [犬山市]

公益財団法人日本モンキーセンターが運営する世界屈指のサル類動物園で、霊長類の飼育展示種数は50種以上約700頭と世界最多!! 自然に近い環境での“放し飼い”や比較的の自由に動き回れる展示が多く、お猿さん本来(であろう)様子を観察できます。

「推し」は「ニシゴリラのタロウさん」。例年(タロウさんを囲む会)などのイベントが開かれ注目を集めています。大型類人猿(ゴリラ)は動きや表情が分かりやすく力強さや威厳もある反面、以外に繊細な面も垣間見えてることで何となく親近感が増し人気を博しているのかもしれませんね。

「Waoラン」に展示されている「ワオキッズナザル」も見た目がわいらしく動きが軽快で愛嬌もあり、子供に大人気です。群れが放し飼い状態で走り回る様子はみていて飽きません。

「ビッグリープ」には(うんてい)などの大きな構造体があり、「ワロロテナガザル」が手足を大きく振ってダイナミックに移動する様子や、真下から吊り橋を渡るところが見られます。テナガザルの仲間は大きな声で吠えることがありますので、運が良ければ生歌(吠えてるだけ!)が聴けそうです。

併設する「日本モンキーパーク」は小さな子供向けのアトラクションが多数ありセンターと一緒に1日思いっきり楽しめます。

営業時間: 10:00~16:00(11月~2月)

入園料: 大人(高校生以上) 1,200円

小中学生500円 幼児(3歳以上) 300円

### 淡路ファームパーク [イギランドの丘]

イギリスの湖水地方をテーマにした農業公園。動物が暮らすグリーンヒルエリアと湖が広がるイギランドエリアに分かれており、無料シャトルバスで自由に行き来することができます。広大な園内では、小・中動物を中心にして約30種類の動物が暮らしています。

#### イギリーフィールド

コアラやうさぎ、フレーリードッグなど、可愛らしい小動物たちが見られるエリアです。実は、コアラには南方系・北方系と種類があり、こちらの施設では日本で唯一、両方のコアラを見ることが出来ます。

#### イギランドエリア

放牧場があり、ひつじたちが目の前に! のびのびと生活する姿はとても可愛いけれど、こちらのエリアでは、お花畑や体験が出来る施設、レストランや遊具など、動物を観察する以外にも楽しめる施設がたくさんあります。お腹が空いたらレストランへ。淡路牛や淡路島の玉ねぎを使用したハンバーガー、しらす丼など、地元の食材を使用したグルメにも注目! ゆったり観賞したい方にも、アクティビティに遊びたいお子さんもきっと楽しんでいただける場所です。

#### アーバンヒルズ

「アーバンヒルズ」には、アーバンヒルズの名前通り、アーバンな施設が点在しています。アーバンヒルズの名前通り、アーバンな施設が点在しています。アーバンヒルズの名前通り、アーバンな施設が点在しています。

TEL: 0656-0443 兵庫県南あわじ市ハ木養宜上1401番地

<https://www.english-hill.com/>

### 到津の森公園 [北九州市]

福岡県北九州市小倉北区に位置する「到津の森公園」は、動物園・自然公園・遊園地が一体となった都市型の自然環境教育施設です。かつて遊園地だった名残を残しつつ、現在は約100種500頭羽の動物たちが暮らす、街中のオアシスとして親しまれています。園内は、動物園だけでなく公園や遊園地もあり、家族連れにも人気です。

檻を極力拆した展示方法により、動物たちの自然な姿をのびのびと楽しめるのが特徴で、猿山は距離が近く迫力満点ですが、動物の個体数が少なめなので、隠れていたら見られないこともあります。ライオンやトラなど人気の動物は1匹が多く、高齢なのですが、ゆったりとした雰囲気の中で観察できます。

夏場は山の上といふこともあり日差しを強く感じるため、日焼け対策は忘れずに。入園料もリーズナブルで、気軽に訪れることができます。

TEL: 0803-0845 福岡県北九州市小倉北区上到津4丁目1-8  
<https://www.itozu-zoo.jp/>

### 秋吉台自然動物公園サファリランド [山口県美祢市]

山口県美祢市にある「秋吉台自然動物公園サファリランド」は、広大な自然の中で動物たちと間近にふれあえる体験型の動物園です。動物との距離が近く、ふれあい体験が充実した人気スポットです。

一番の目玉は「餌やりバス」(¥1,100)。動物ごとに異なる餌をあげられ、朝一番の便では食いつきの迫力が格別! ガイドさんの説明も個性豊かで、何度も乗っても楽しめます。

園内では、バスに乗らなくても「もぐもぐタイム」に参加すれば、誰でも餌やり体験が可能。ホワイトタイガーや春のベビーラッシャも見どころで、赤ちゃん動物に出会えるチャンスも! 自家用車での見学も可能で、ライオンの赤ちゃんとのふれあいや記念撮影ができる時期もあります。レッサーパンダを眺めながら食事ができるレストランや、お土産コーナーも充実。ボニー乗馬や遊園地もあり、家族連れにもおすすめ。

TEL: 0754-0302 山口県美祢市美東町赤1212  
<https://www.safariland.jp/>

### 周南市立徳山動物園 [山口県]

山口県周南市にある「周南市立徳山動物園」は、1960年に開園した歴史ある動物園で、現在もリニューアルを進めながら市民に親しまれています。

市街地に位置しておりアクセスも良く、家族連れや学校行事などで多くの人が訪れる人気スポットです。規模としては小さめですが、ぎゅっと密かに詰まった動物園です。わざわざいりては、なぜか三つにはない巨大なミニブタ、ヤギ、ヒツジ、ボニーなどと触れ合えることができます。

特にスリランカリウの園舎がおすすめで、室内ではリゾウより高い場所から観察することができますが、屋外では水遊びやご飯を食べたりする自然体のゾウを観察することができます。

猿山があったときは、猿たちへの餌やりが一番お勤めのゾーンだったので、現在リニューアル工事中なので、完成するのが楽しみです。

また、全国的に話題となつた「悩めるマレークマ・ツヨシ」がユニークな仕草で来園者をむかえてくれます。

TEL: 0745-0851 山口県周南市徳山5846  
<https://tokuyama-zoo.jp/>

提供: 豊橋総合動植物公園

提供: 豊橋総合動植物公園

提供: 豊橋総合動植物公園

晩秋の風が心地よく頬を撫でる頃、豊橋市の「のんほいパーク(豊橋総合動植物公園)」は、静かな感動に満ちた場所になります。木々が赤や黄に染まり、園内を歩くだけで季節の移ろいを感じられるこの時期。特に動物園アリアでは、生息地の環境や自然の姿を身近に感じることができるように造られており、澄んだ空気の中でのびのびと過ごす動物たちの姿が、より生き生きと映ります。

「動物たちの息づかいが聞こえるような距離感」「自然の中で動物と向き合える贅沢」「エサやり体験やふれあいができる「ながよし牧場エリア」は動物と仲良しに」そんな声が多く寄せられるのも、晩秋の「のんほいパーク」ならではの魅力です。

#### 人気の動物たち

ホッキョクグマ(極地動物館)…全国で初めて“シロクマのダイブ”を展示したのが「のんほいパーク」。広い水槽で泳ぐ姿は、水しぶきもキラキラして幻想的で、寒い季節に映えると評判です。

アザラシ…水槽をスイ游ぶ姿が、まるで水中パレエ。子どもが夢中になってしまふ可愛さです。

ライオン(ライオンウォーキー)…頭上を歩く姿が見られる園内でも珍しい展示で迫力があります。2025年8月に赤ちゃんが3頭生まれ、そろそろ親子の散歩が見えるかも。

レッサーパンダ…立ち上がる姿が“着ぐるみ”みたいで、思わず笑ってしまう可愛さ。木登りする姿は元気いっぱい、見てるこっちまで元気をもらいます。

人気スポット…広大な草原にキリンやシマウマがのびのび暮らす「アフリカエリア」、夜行性の動物たちを静かに観察できる「夜行性動物館」。

ついつい立ち寄りたい食事スポット…動物を眺めながら食事ができる「ステラカフェ(園内展望塔)」、再入園OKなので弁当を持ち込んでランチできる「芝生広場」。

入園料金: 大人 600円、小・中学生 100円、未就学児 無料  
開園時間: 9:00~16:30(最終入館: 16:00)  
休園日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)

提供: 豊橋総合動植物公園

### 姫路市立動物園 [兵庫県]

兵庫県姫路市にある「姫路市立動物園」は、世界文化遺産・姫路城のすぐ隣に位置する、歴史ある動物園です。1951年に開園し、70年以上にわたり地域の人々に親しまれてきました。

置する、歴史ある動物園です。1951年に開園し、70年以上にわたり地域の人々に親しまれてきました。観光のついでに立ち寄れるアフリカエリアなど、動物たちを静かに観察できる「夜行性動物館」。

園内にはホッキョクグマやアシカなど、水辺の動物もたくさんいて、「ここって水族館?」と思うほど種類が豊富。動物好きにはたまらないラインナップです。

そして、なんといっても注目は「ケサランバサラ」! 「見る人を幸せにする」と言われる未確認生物で、国内でも珍しい展示。展示時間が短いので、見られたらラッキーです。

ちょっと変わった動物園を楽しむ一方、姫路観光のついでにぜひ立ち寄ってみてください!

TEL: 0700-0112 兵庫県姫路市本町68  
<https://www.city.himeji.lg.jp/dobutuen/>

兵庫県姫路市にある「姫路市立動物園」は、世界文化遺産・姫路城のすぐ隣に位置する、歴史ある動物園です。1951年に開園し、70年以上にわたり地域の人々に親しまれてきました。観光のついでに立ち寄れるアフリカエリアなど、動物たちを静かに観察できる「夜行性動物館」。

園内にはホッキョクグマやアシカなど、水辺の動物もたくさんいて、「ここって水族館?」と思うほど種類が豊富。動物好きにはたまらないラインナップです。

そして、なんといっても注目は「ケサランバサラ」! 「見る人を幸せにする」と言われる未確認生物で、国内でも珍しい展示。展示時間が短いので、見られたらラッキーです。

ちょっと変わった動物園を楽しむ一方、姫路観光のついでにぜひ立ち寄ってみてください!

TEL: 0700-0112 兵庫県姫路市本町68  
<https://www.city.himeji.lg.jp/dobutuen/>

営業時間: 10:00~16:00(11月~2月)  
入園料: 大人(高校生以上) 1,200円  
小中学生500円 幼児(3歳以上) 300円

### 長崎バイオパーク [長崎県]

長崎県西海市にある「長崎バイオパーク」は、「ZOOっと近くにふれあえる」をコンセプトにした、動物との距離が驚くほど近い体験型の動物園です。約30万平方メートルの広大な敷地に、約200種の動物と1,000種以上の植物が共存しており、「人と自然の共生」をテーマにした展示が魅力です。

来園者は、フランミング、カビバード、リスザル、キツネザル、カンガルーなど様々な動物とふれあうことができます。中でも、リスザル/キツネザル/ゾウ/ヒツジなど、餌を持ってる人のめがけてどこからともなくリスザルたちが現れ、手に乗ってきてエサを催促してきます。手のひらの感触など、一生忘れるここの動物園ならでは。色々なところでご飯を食べる姿に心を奪われるかもしれません。まるで同じ空間で暮らしているような感覚で、動物たちの居住区に入り込んでしまったかと錯覚してしまうほど。檻や柵がほとんどなく、木や石などありのままの自然な感覚で、展示しています。

また、動物の怖がる習性などを利用して、決められた場所から逃げないように、あらゆる工夫がされているところも魅力の一つです。動物園の柵を超えて「わざわいの楽園」。とっても広いので、軽装で歩きやすい靴で行くことをお勧めします。

TEL: 0851-3302 長崎県西海市西彼町中山郷2291-1  
<https://www.biopark.co.jp/>

6

## 最近スマホが遠ざかる? 「見えにくさ」を見逃さない!

「最近、文字が…おかしい?」と感じた皆さま、

「スマホの文字が小さくなった気がする」「資料の数字が一瞬わからない」それは、印刷が悪いのでも、光の加減でもありません。ズバリ、老眼のはじまりかもしれません。今回のテーマは、誰にでもやってくる『老眼』です。

### 【老眼のサイン】

老眼の初期サインは「40cmの視界」にあります。

- ・書類が読みにくい
- ・小さなラベルを“腕を伸ばして”読もうとする
- ・スマホの文字がぼやける
- ・ピントを合わせるのに“ワンテンポ遅れる”

この「ほんのちょっとの違和感」こそ、老眼の入り口です。そして辛いのは、目が無理にピントを合わせようとして疲れ、「かすみ目」や「目の奥の痛み」に繋がっていくことです。



### 【老眼と遠視】

ピントが合う位置が、どんどん遠ざかっていく…これは遠視?

これもよくある質問です。そもそも老眼と遠視の違いは何でしょう。

### 【老眼は予防できるのか】

老眼は“加齢現象”です。ブルーベリーをたくさん食べても、完全に防ぐことはできません。しかし、進行を緩やかにするために、できることはあります。



#### 今からできる老眼ケア

- ・長時間のスマホ、PC作業は60分に1回は休憩を!
- ・遠くを見る“目のストレッチ”を意識的に行う
- ・睡眠、栄養、水分をしっかりとる
- ・紫外線対策(サングラスなど)で水晶体を守る

### 【老眼鏡は「見え方のチューニングツール」最近の老眼鏡事情】

老眼→“老けた”、老眼鏡→“恥ずかしい”、と思っていませんか?今や、老眼鏡は「視界を快適にする道具」として、デザインも機能も進化しています。

- ・スーツにも似合うオシャレ系
- ・ブルーライトカット搭載のPC向け
- ・進化した遠近両用メガネ
- 「あれ、老眼かも?」と感じたことがある方は、是非、目の疲れが酷くなる前に「見え方のチューニングツール」を試してみましょう。

#### 遠近両用メガネ(ざっくりとした)仕組み

- ・レンズの上部:遠くを見るため
  - ・レンズの下部:近くを見るため
  - ・真ん中:中距離(パソコン作業など)
- 視線を少しずつ使い分けることで、1本のメガネで対応できるのが魅力です。

#### <メリット>

- ・メガネをかけ外しする手間がない
- ・デザインが豊富でオシャレなブランドも多数あります
- ・慣れれば手放せなくなる便利さ

#### <デメリット>

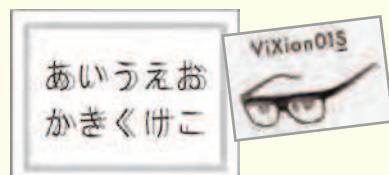
- ・最初は「視線の切り替え」に違和感あり→約1~2週間で慣れる人が多い
  - ・安価なレンズはゆがみが強い→レンズの質はお値段に比例
- 技術の進化により、選択肢も増えてきました。

#### 「中近」「近々」メガネ

- ・中近:室内・パソコン作業に特化
- ・近々:読書・手元作業用

#### 自動ピント調節メガネ

- ・レンズ内に液晶や可変素材を内蔵し、目の動きや距離を検知して瞬時にピントを調整
- ・老眼鏡や遠近両用メガネのように“目線をズらす”必要なし
- ・センサー、AI、視線追跡などの技術が活用されている
- ・日本では、ViXion01Sというモデル(上)が販売中。<https://vixion.jp/>



#### 遠近両用コンタクトレンズ

- ・ソフト・ハード両方あり
- ・細かい度数設定が可能になり、フィット率が向上
- ・ただし、やや高価で慣れるまでに個人差があるようです

老眼は、誰にでもやってくる自然な身体の変化ですが、「見えること」の価値を見直すタイミングです。日々を快適に過ごすため、どう対応するかが大切ですね。

#### 老眼と遠視の違い

	老眼	遠視
原因	加齢でレンズ(水晶体)が硬くなり、ピント調整能力が低下すること	もともと、ピントの合う位置が網膜の後ろにある目の構造上の特性
いつから?	早ければ40代前半頃から	生まれつき(若い頃は気づかないことも)
特徴	近くが見づらくなる	近くが見づらいが、遠くもぼやけすることあり



「ViXion01S」とその他の製品の比較				
項目	ViXion01S	一般的な眼鏡	老眼鏡	拡大鏡(ルーペ)
ピント調整	自動で調節	決まった距離 決まった度数	手元のみ	手元のみ
軽さ	33g (アウター フレームなし)	約35g	約20g	約20~500g
使えるシーン	生活全般 (車の運転 などは除く)	生活全般	近距離の作業 など	細かい作業 など
製品分類	ウェアラブル デバイス	一般医療機器	一般医療機器	雑品



# すずひで

# ありがとう

# わ

## 第1製造課の

大林 駿太さんへ



磨棒製造の作業員として10年ほど現場で過ごした後、工程業務を担当。事務所での仕事に慣れはじめた頃、ピチピチの新入社員として大林君はやってきました。5つも年下の新人の割には、いやに貴禄ある(ふてぶてしい)風貌が印象的でした。ある日の職場、「筋肉ばなし」で盛り上がっていた時、いきなり話に割り込んできたかと思うと得意気に上着を脱ごうとする彼にキケンな雰囲気を感じたのは私だけではないでしょう。なんとなく“いじり甲斐のあるヤツ”と思ったものの、当時は部署が違ったことや自身も初めての仕事に追われていたので、あまり構ってやることができませんでした。



時を経て、職場異動となった大林君。気が付けば隣の席に座っています。同じ部署なので、当然ながら仕事の絡みは毎日のこと。私の罵声を浴びながらも日々頑張ってくれています。時にはくだらない話に、時には営業部の〇手君とのプライベートな飲み会につき合ってくれてありがとうございます。けっこうへマしたり、手を煩わせる存在だけど、私にとってはかわいい後輩です。お互いにこれからも、いろんな経験をしながら、仕事だけでなくプライベートでも『華』を咲かせていきましょう!

第1製造課 上杉 侑大

## 技術部 生産技術課の

菅沼 槟介さんへ



CHの生産工程を担当している私の最大の悩みといえば、生産ラインの故障です。重たい鉄の素材を移動したり、加工したりする機械たちは当然ながら頑丈ですが、定められた温度や速度管理、人間による微妙な調整など、繊細な作業に対応するためか、日常的に何かしらのトラブルが発生します。営業(お客様)から指示された“納期”的プレッシャーで、気弱な私のハートがつぶれそうになることもしばしばです。

でも大丈夫。私には絶対的に頼りになる人物がいるのです。それは技術部の菅沼さん。トラブルの原因を迅速、かつ正確に特定し、最善・最短で修理対応をしてくれる達人です。だから、私は納期遅れを最小に抑えられるよう工程調整に集中できます。それに加えて菅沼さんは、設備・機械の知識が乏しい私にさえ理解できるように原因と対応についてわかりやすく説明してくれるのです。おかげで作業の目処を立てたり、関係各署に状況を伝えて協力を仰いだりすることができます。感謝、感謝です。



これからも、きっと(…いや間違ひなく)設備・機械のトラブルは発生します。ご迷惑をおかけしますが、何卒よろしくお願ひします。そして、折を見て、また遊びに行きましょう。(焼肉もね)

第1製造課 大林 駿太

## 第2製造課の

吉川 友人さんへ



私の仕事は、本社工場にあるさまざまな機械や設備、建屋や装置で発生するトラブルを解消する、いわゆる「保全業務」です。

機械構造や電気系統について、まだまだ未熟ではありますが、自分なりに持っている専門知識を駆使して、現場作業者のみなさんのストレスを少しでも軽減できるよう努めています。そんな私が、入社してまだ1年も経たない3年ほど前のこと、異形磨棒鋼のD6引抜きラインで電気回路の調査を任せましたが、誤ってブレーカーを落としきてしまい、生産ラインを1時間ほど停止させてしまうという大失態をやらかしてしまいました。冷や汗をかきながら復旧作業に全力を注ぎつつ、「これは間違ひなく怒られる…」と肩をすくめていた時、「仕方ないよ、1時間ぐらい。頑張れば取り戻せるから、気にすんなって!」そう声をかけてくれたのが、吉川さん。あの一言にどれほど救われたことか。これからもぜひ、そのやさしい対応をよろしくお願ひします。



追伸…そんな吉川さんですが、一言だけ文句(?)を言わせてください。1991年生まれの私、現在32歳。てっきり自分より年下だと思っていたら、まさかの「10年上だなんて! その見た目でダメです。詐欺です。もう少し、老けてください。」

技術部 生産技術課 菅沼 槟介

## GLのひとり言

### 三重製造課 伊藤 大悟

### 「伊藤家 剣道部はじめました!」



ひとりたて趣味と呼べるようなものがなかった私ですが、今年の6月から新しく習い事を始めました。それは「剣道」です。きっかけは、「忍者になりたい!」と当時小学2年だった長男が突然宣言したこと。それではと道場に入門させ、家族で稽古や試合に付き添ううちに、技を決めて一本を取る格好よさ、一生懸命稽古に励む姿に惹かれて小学1年の次男と一緒に、私自身も入団していました。稽古で、まず最初に学ぶのは「礼」です。道場への入退場、先生や稽古の相手、さらには防具や道具など、あらゆるものへの感謝を徹底して教えられます。振り返れば“普段の生活で関わる人やモノに対して、自分自身は感謝の気持ちで接しきれていたのか”という問いに、大人ながらも未熟さを実感しました。

そしていよいよ実際の稽古、いざ竹刀を握ってみると動きが全くチグハグ。手と足を同時に動かし、発声とともに狙った場所に的確に打ちこむ。見ている時は簡単そうだった素振り、面打ち、そしてすり足の動作はシンプルだからこそ難しい。3か月経った今でも「納得のいく一本」は、なかなか…。その奥深さを痛感しています。

40歳を過ぎての挑戦、覚悟はしていたものの身体への負担は激烈です。最初の1か月は稽古のたびに足の裏と左手の皮がめくれ上がり、当然のように毎回、全身筋肉痛。最近は防具を付けての稽古も始まりましたが、面をつけると想像以上に呼吸がしにくく、酸欠状態。激しい動きに重い足はもつれ、さらには竹刀を握る手もしびれ途中でリタイアすることも度々です。1週間の休養で回復させて、また稽古に臨む。この繰り返しです。納得できない悔しさに「次こそは」という気持ちで立ち上がり、最後までやり遂げたときの充実感はなにものにも代えがたく、自分の成長を感じる瞬間です。



年齢を言い訳にして逃げないで、勇気をもって挑戦して良かったなど、心から思っています。決してカッコよくないくれど、父親の泥臭くとも、諦めない姿は息子たちに見せられているはず。いつかは同じ剣友として、そして父親として彼らにアドバイスする日が楽しみです。目下の目標は「段位取得」。週末は息子たちと一緒に稽古に励みます。

総

務

通

信

## - 本期のまとめ -

2025年度が終わり、新たな期が始まりました。昨年の秋号で掲載した、社員アンケートからおよそ1年間、「エンゲージメント向上」のため様々な取り組みをしてきました。「エンゲージメント」とは、社員の皆さんが会社に愛着を持ち、主体的に貢献しようとする姿勢のこと。働きやすい環境や働きがいのある会社にすることでエンゲージメントを向上させ、生産性を上げて社会へ貢献することが、会社としての最終目的です。

今号では、1年間のまとめとして、再度皆さんにご回答いただいたアンケートの結果とともに活動内容についてご報告します。

## アンケート結果

昨年同様、1. 安全・健康、2. 業務・組織管理、3. 人材育成、4. 職場環境、5. 評価・待遇の5項目、計20問の質問に回答いただきました。今回もおよそ7割と多くの方にご協力いただきました。本当にありがとうございます。果たして、結果はいかに…！

残念ながら、点数としてはほぼ現状維持という結果になりました。

調査時点で改善が終わっていないものや、検討はしたものの実施できなかったことなど、様々あります。何よりも皆さんへのアピール不足だと痛感しました。

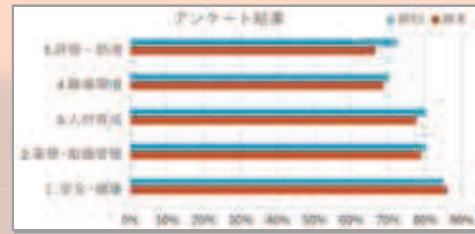
一方で、「1年前と比較して会社は良くなったと思いますか。」という質問に対しては、「良くなつたと思う」が60%におよびました。数値として結果は出なかったものの、1年間という短い期間で変化を感じていただけた方が多くいたことに安心しました。

皆さんからいただいた良くなつた点やもっとこうなるといいなというご意見をご紹介します。

良くなつた点  
福利厚生が充実して嬉しい  
働きやすさが向上したように思う  
情報発信が以前より増えた

改善点

現場の暑さをもう少しあんとか…  
情報共有がまだ足りていないと思う  
色々な社員の声がわかるようコミュニケーションが増えると良いのでは



## 本期の活動内容

## ・職能資格基準表の改定

以前も鈴秀四季でご紹介した評価制度、皆さんは認識されているでしょうか。アンケート結果でもまだまだ浸透しているとはいいがたいように思いました。自分がどのように評価されているか、求められている能力が何なのかがわからなければ、適切な評価がされているのかと疑問に思う方がいてもおかしくありません。

この状況を改善するため、まずは「職能資格基準表」の見直しを行いました。「職能資格基準表」とは、各職種、各職級に求められる能力を一覧にした表です。実際に見たことのある方は、あまり多くないのではないでしょうか。今回、こちらの表の内容を見直し、よりわかりやすく改定を行いました。そしてその内容を評価する側、評価される側双方に共有し、同じ認識を持つことを目的としています。

## ・情報発信の強化

こちらはまだまだ道半ばですが、会社に関する情報、お願い事、イベントなどのお知らせを漏れなくお伝えできるよう、発信を増やしているところです。

SmartHRでのお知らせ以外にも、日常のちょっとした出来事などを配信する配信用メールや、掲示板でもチラシや案内を掲示しています。また、インスタグラムでは皆さんからご提供いただいた写真やおすすめスポット、各部の仕事の紹介など、社員の皆さんにも見ていただきたい内容がたくさんあります。定期的に情報が更新されていますので、お見逃しなく！

## ・福利厚生をもっと手軽に

これまで福利厚生の充実のため、色々なものを検討していましたが、幅広く、そして手軽に利用していただけるという点では課題がありました。総務を通して利用するものがほとんどであるため、どうしても一部の方に偏っていました。

もっと多くの方に手軽に利用していただくため、各自で申込・利用ができる「ベネフィットステーション」を導入。結果、4～7月で8割強の方にご利用いただけています。ぜひ自分に合ったオトクを見つけて活用いただけます。

また、名古屋港水族館の申し込みも紙からSmartHRでの申請に変更したこと、初めての方にもご利用いただけることが増えました。1人何回という制限はありませんので、たくさんご利用ください。

## ・工場周りの整備・美化

本社工場では、共有部分を中心にお掃除や備品の更新、置き場の整備など、三重工場では草刈りやシートはりなどを行っています。

これまで放置されがちだった、気が付きにくいけれど誰かがやらなければならない部分。そのような場所を洗い出し、



計画を立てて改善をしています。実は変わっているところや、綺麗になったところもあるので、気がついていただけたら嬉しいです。

今後も「辛いところに手が届く」を目指して、進めていきます。



## ・育児休業サポート体制の充実

今ではかなり一般的になった育児休業ですが、詳細を知らない人はきっと多いですよね。当事者になって初めて、疑問に思い、調べる方がほとんどだと思います。そのような方にも積極的に取得をしていただけるよう、体制を整えています。

まず、相談窓口の設定。「育児休業って取れるの？」「取るためにどうしたらいい？」という、1番初めの疑問を解決するために、窓口を決めました。各工場の担当者はSmartHRのお知らせや掲示で公開していますので、まずはご相談ください。お問い合わせはSmartHRの申請フォーム「総務への問合せ」からでもOKです。期間や給付金などの疑問点については、総務よりしっかりとご説明しますのでご安心ください。

また、実際に取得された方の声を元に、面談も実施しています。育児休業に入る前、休業中、復帰後など、様々なタイミングで仕事との両立に不安を感じられる方も多いと思います。必要なタイミングで上司を含めた面談を行い、仕事への不安や働き方に変更があるかを共有していただきます。

実績	男性	女性
対象者数	7	2
取得者数	5	2
実績	71.4%	100%

昨年も多くの方が取得され、2週間～半年ほどと期間も様々です。ご希望に合わせて取得することが出来ますので、お気軽にご相談ください。

## 今後に向けて

《重点課題は情報共有・人材育成》 今期の課題としてはまずは、情報共有がまだまだ足りていないという点がありました。皆さんが本当に必要としている情報が届いているのか、そもそも会社について知られていないことがあるのではと、今一度見直し、改善していきます。

また、研修や講座の受講、自己啓発など、人材育成の部分でもさらに活動を広げ、より成長できる環境整備に力を入れていきます。

今後も不定期で状況調査のアンケートを実施させていただきますので、その際はご協力をお願いします。働きたいと思える会社にはどのようなことが必要なのか、皆さんの視点でご提案をいただけると嬉しいです。

## 定年退職者の皆さんからの言葉



稻垣 一典 さん

昭和56（1981）年、16歳で鈴秀工業に入社。磨棒のプレス切断から始まり、面取、出荷。その後、当知センター（磨棒の小口販売拠点）での勤務を経て本社に戻り、磨棒やCHを行ったり来たりで44年と4ヶ月。バブルがはじけ、二度の震災、リーマンショック、コロナ…、いろいろなことが起きました。ここまでこれたのは皆さんのおかげ。そしてまた5年間、よろしくお願いします。



奥山 篤 さん

9月20日をもちまして、定年となりました奥山です。入社以来、みなさんには大変お世話になりましたが、引き続きお世話になります。これまで学び経験したことを活かしてもう少し頑張ります。新たなスタートですが、心新たに精進していきますのでよろしくお願いします。



佐々木 玲子 さん

年の瀬に車でショッピングを行った帰り道、ひやかし気分で立ち寄った「職安（ハローワーク）」で紹介されて、その日に面接。いきなり翌日の勤務から始まった鈴秀生活は、気づくと26年間を過ごしていました。たくさんある楽しい思い出、そこにもう少し追加させていただきます。これからもまた、お世話になります。



水谷 忠憲 さん

入社以来35年、ここまで続けてこれたのも、関わっていただいたみなさんと会社のおかげです。長い鈴秀生活のなかには、自分自身の反省や苦い思い出もたくさんありました。それでも還暦を超えてなお、みなさんと一緒に働くことがうれしく、あらためて良い会社だと感じています。これからも引き続き、よろしくお願いします。



2人で幸せになれますように。  
今日だけでなく、人生の最後まで  
一緒にいられますように。

2025年8月14日 挙式  
【山口製造課】アクバル プラスティヨ  
ウルファコニタ

中途入社社員  
紹介  
よろしく  
お願いします!



山口製造課 香田 晋佑  
2025年3月1日 入社



三重製造課 小岩 優伸  
2025年3月24日 入社



鈴秀・筋トレ部 / 始動しました!

この度、『鈴秀工業・筋トレ部』を立ち上げることになりました。  
ここで「発足の目的」と「活動内容」をご紹介します。

【部の目的】

- ・当社の「健康経営宣言」——  
『全従業員が心・身ともに健やかであり、最高のパフォーマンスを発揮できる会社』をめざし、気軽に参加できる“健康の場”をつくります。



【活動内容】

- ・月に1回程度、ジムに集まって一緒にトレーニング!
- ・各自好きなメニューでOK! 筋トレ・有酸素運動も歓迎。
- ・筋トレ好きの部員もいるので、正しい知識を共有しあいケガを防ぎます。
- ・「何をしていいかわからない…」という方でも安心。みんなでサポートします。

トレーニングは苦しいばかり。  
怠け心との闘いです。

でも仲間がいれば——時に競い  
合い、時に励まし合い、昨日まで  
の自分を超える楽しさを味わえま  
す。「独りぼっちではがんばれな  
い僕…」、「だれかに成果を認めて  
ほしい私…」そんな“さみしがり屋さん”的な男子と女子が、10名ほど集ま  
りました。

すでに個人でトレーニングをしている人なら、孤独なジムトレからの脱  
却を、「運動せねば」と思っているけど実行できていない人なら、次の健  
康診断結果の改善を。どんな目標でも大歓迎! 幽霊部員でも、ゼーんゼ  
ンOK! 入部を決めたその場所が、健康へのスタートラインです。

こんな私たちに少しでも興味をもったなら、第1製造 大林まで、気軽に  
に声をかけてください。

● 筋トレのメリット ●

- ・姿勢がよくなり、腰痛・肩こりが軽減
- ・血圧が安定します
- ・血糖値が下がります
- ・成長ホルモンの分泌を促進します
- ・認知機能の改善に効果あります
- ・眠りの“質”が良くなります

『鈴秀四季』の目的と役割

- この紙面を通じて、社員相互のコミュニケーションを円滑なものとし、一体感と独自性を持った組織運営の一助となる。
- この紙面を通じて、鈴秀の未来・将来へつながる経営の方向性や方針を、社員及びその家族へ伝える一助となる。
- この紙面を通じて、鈴秀社員として会社及びそれを取り巻く環境についての認識知識を共有できる一助となる。
- この紙面を通じて、ここ鈴秀で働く仲間たちの活躍やエピソードをピックアップし、一部なりとも紹介できる一助となる。

なによりも、この紙面は鈴秀社員各位の協力と工夫によって作り上げられ、その一頁一頁が風土、文化へ昇華することを願う。

次回冬号は1月中旬発行予定

あかちゃん誕生



【品質保証部】北林 久典  
カズキ  
二男 和樹君  
2025年8月16日生

Selamat Datang di  
Agung Suzuhide  
ようこそ 鈴秀へ



IWWIからの研修生です。

Fery Marlinda

帰国実習生からのメッセージ

Terima kasih



皆さんおつかれさまでした。  
お世話になっております。一緒に「動いたり  
色々ごと教えてくれたりしました。  
鈴秀工業 いつもありがとうございます。  
アグス プディアント

第1製造課(CH) アグス プディアント

計報

2025(令和7)年10月3日。鈴秀工業の「生産技術の父」である、元顧問の鈴木輝彦氏がご逝去されました。享年96歳。

1960年、名古屋市金山から大高の丘陵地に移転した本社工場は、輝彦氏の緻密な計算と様々なアイデアが組み込まれ、その後の鈴秀工業が鉄鋼加工業として飛躍する礎となりました。効率性、安全性を考慮した工場レイアウト、独創的な設備発想はその後に新設される山口工場や三重工場の生産ラインにも反映され、わが社の生産技術思想の基となっています。また困難な技術課題にも積極的に取り組み、勝ち取った特許の数々は鈴秀工業の誇りであります。

東京大学工学部出身のインテリながら、ボート部出身のバリバリ体育会系。

ものづくりに対して妥協を忌み、現場を愛し、お酒を愛し、仲間を愛おしむ。

その人となりを慕う社員や取引先は数え切れません。現役時代、ヘルメットをポイと被ってはふらりと現場に現れる、在りし日のお姿を思い出します。

ご冥福をお祈りいたします。合掌。

編集後記

最近は朝晩が少し寒いかなと感じる日も出でてきおり、秋の訪れを感じられるようになってきました。

今年は興味本位でトロ船を使用して米作りを始めました。夏の酷暑にも負けず、実がついてきて、10月末には収穫できそうな感じになってきました。イベントで作成した石臼の出番がやって来そうです。

実りの秋と共に、出かけるにも快適な季節になってきました。各地で秋のイベントも開催される事と思います。本格的に寒くなる前に短い秋を存分に満喫しましょう。 山田

編集後記

秋の風が心地よくなり、読書・スポーツ・行楽にぴったりな季節がやってきました。今号のメイン企画は「若手有望社員の目に映る鈴秀の姿」をテーマにした座談会です。若手有望社員の声から、働くことへの価値観や会社への期待が垣間見え、未来に向けた力強い意志が伝わってきます。また、秋の行楽にもってこいの動物施設を写真付きで紹介しています。健康イノベーションでは、見えづらさに悩む“老眼世代”にスポットを当てました。見えれば仕事も快適、趣味ももっと楽しくなるはず。目の健康も、働きやすさの一部です。そして「総務通信」では、縁の下の力持ち・総務チームの奮闘ぶりを紹介しています。今号は、笑いと気づき、そしてちょっぴり目のいたわりを詰め込んだ内容となっていますので、是非お楽しみください。 刑部

値段をつけると500円くらいかな